



令和2年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 36

令和3年1月15日

文責:校長 神尾孝弘

北海道からの贈り物

福田小の6年生に、昨年オンライン交流を行った北海道栗山町の継立小学校のみんなから、贈り物が届きました。中には、「さらさらレッド」と「スマイルボール」という栗山町特産のタマネギが入っていました。「さらさらレッド」は健康成分のケルセチンが多く含まれており、味の濃い本格的なタマネギだそうです。また、「スマイルボール」は、辛みが少なく甘みが多いので、生でも食べられるそうです。(タマネギは子どもたちが家庭に持ち帰り、食卓を彩りました。)



タマネギと一緒に、継立小のみんなが心をこめて書いてくれた手紙のファイルも添えられていました。6年生の子どもたちは、嬉しそうにページをめくり、手紙に込められた継立小学校のみんなの思いを感じ取っていました。

こうして、遠く離れた北海道の友達との心の交流が行われ、6年生の豊かな学びが実現されています。

【雪の森林環境学習～in フォレストパーク】

1月13日(水曜日)。1年生と2年生の子どもたちは、大玉村のフォレストパークで、雪の中での森林環境学習を行いました。

はじめに、森の案内人の蓮沼さんの指導のもと、冬の自然観察をしました。スノーシューで雪の上を歩き、動物の足跡を見つけたり、木の冬芽を観察したりと、冬ならではの自然の様子を体感しました。

次に、そり滑りを行いました。子どもたちは、フォレストパークに作られたそりのコースに大喜びで、真っ白い雪の中で元気な歓声が響き渡っていました。冬の凛とした空気と豊かな自然に囲まれ、雪を満喫した楽しい1日になりました。



【税の大切さを学びました～租税教室～】

町役場町民税務課の斎藤さんを講師に迎え、6年生の租税教室が行われました。税金の必要性や意義を講話やクイズ、ビデオなどで学びました。「税金がなくなった社会はどうなるのか」、「なぜ税金を納めなければいけないか」などを子どもたちは真剣に考えていました。「みんなの税金でよりよい社会を作ることができることが分かった」「税金がなかったら、火事や事故のときに困る」などの感想が出されました。今回の租税教室で、自分たちの社会のために税が大切な役割を担っていることを実感することができました。

